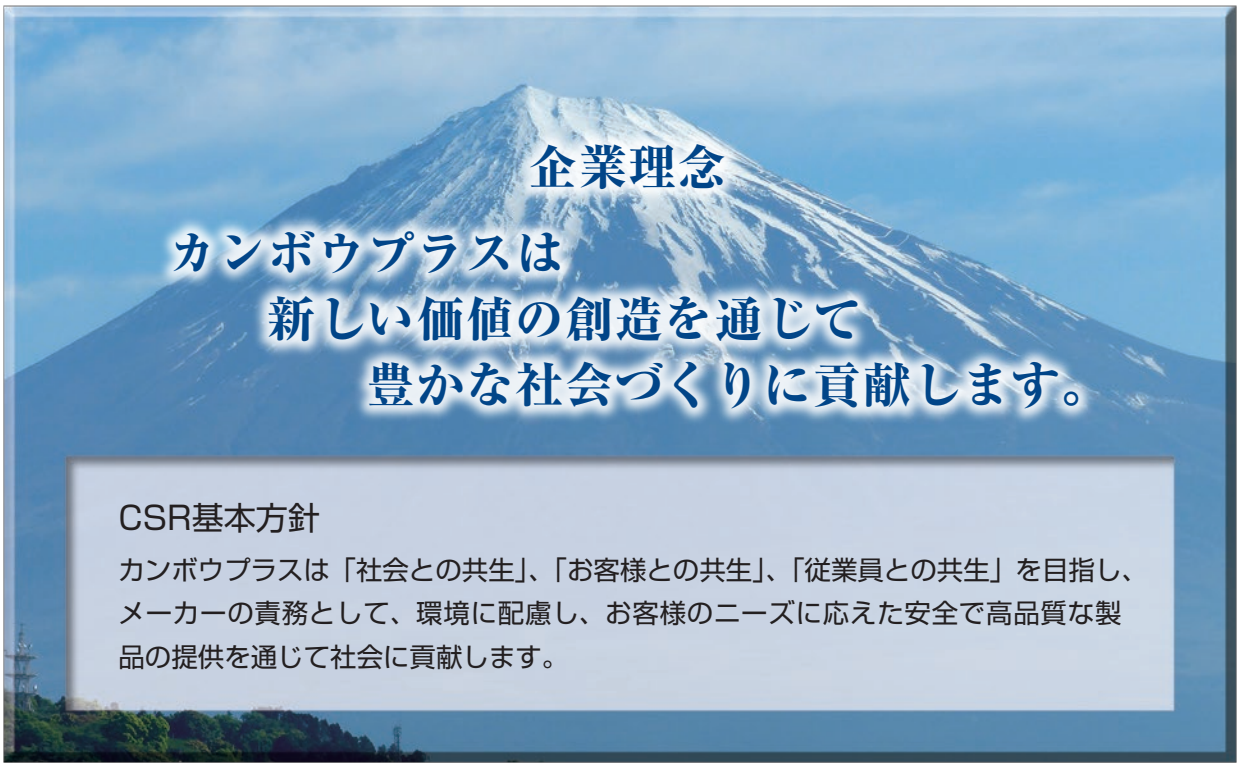
新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりに
貢献します。

2017 CSR報告書 カンボウプラス

CSR：Corporate Social Responsibility

KANBO PRAS



CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	6
その他のかかわり	9
ISO26000対照表	裏表紙

カンボウプラスの概要

代　表　者	代表取締役社長　中村信治
設　　立	1939年3月24日
資　本　金	10億2,030万円
決　算　月	3月
従　業　員	170人
主要事業	1. ファイバー（繊維）とプラスチック（樹脂）の複合化による キャンバスの製造と販売 2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した商品の販売 3. 一級建築士事務所　建築物・工作物の設計・施工
事　業　所	本社、東京支店、福井工場
外部認証	福井工場　ISO9001、ISO14001

“新加(シンカ)”
「新」しいものを「加」えることによって、
社会に貢献できる企業を目指します。

≪産業資材製造・販売会社としての役割≫

当社は繊維素材の樹脂加工を専門とする製造・販売会社であり、主に産業資材用途に使用され、建設現場・土木関連工事・物流資材・レジャー関連等にご利用いただいております。

近年、異常気象ともいえる集中豪雨による洪水被害が激増しており、地震災害と相まって、防災関連の報道が多くなっております。当社で製造している素材を使用した防災関連商品も、微力ながら社会に貢献できるようになりました。

当社は東日本大震災後、放射能汚染土壌処理用のコンテナバッグを耐候性の良いコンテナバッグとして、お客様に使用していただいております。

また当社シートは、古くから港や工業地帯の海の汚れを防ぐためのオイルフェンスとしても利用されております。簡易折畳み水槽（商品名アクアマイスター）は災害時の水の確保、お風呂、子ども用プール等いろいろな用途に使用されております。

そのほかにも、土木関連現場での強化材・防草シートの一部・浸水防止用のパネル型止水シート・緊急用ターポリン救護担架等がいろいろな場面で活用されており、お客様のご要望に添ったものづくりにかかわっております。

≪新加（シンカ）する企業を目指す≫

“シンカ”とは進化でも深化でもなく、新しく加えるという意味の“新加”です。当社を取り巻く環境は常に変化し、お客様のニーズも変わってきています。常に新しいニーズに応える製品を新しく加えていかなければならないのです。それはカンボウプラスの社名にある“プラス”でもあります。

カンボウプラスはより多くのお客様とともに、持続的に成長することを目指します。自ら変革するとともに、お客様の多様なニーズに対し、鋭敏な感性と誠実さをもって応えることで、当社の企業理念である＜新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりに貢献します＞を実践し、新加（シンカ）する企業を目指します。

このたび2016年度の活動をまとめた『2017ＣＳＲ報告書』を発行いたしました。皆様の忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

代表取締役社長　中村信治

当社商品のご紹介

ターポリン救護担架

軽量で省スペース保管！

●カラーラインナップも充実
別注で19 色の中から製作できます。
これまでの担架のイメージが大きく変わります。

●防災、保安の要として多数採用
工場や工事現場などへ多くご採用いただき、省スペースとフレキシブル性をご評価いただいております。

●規格、サイズ
製品寸法：60cm×200cm
収納時寸法：33cm×40cm×9cm
重量：約2.0kg（収納袋込み）

幼保向け遊具　～ターポリンの採用～

子どもたちの夏の楽しみ！
シートタイプのプール

●園庭にプールが出現！限られた敷地内で設置
都心部の限られた敷地や、常設プールの無い幼稚園・保育園で活躍しています。

●保育士さんだけで設営可能
折畳み式の10人用から、大型の26人用までターポリンが使われる事で簡単に設営できます。

●コンパクト収納
オフシーズンは邪魔になりがちな大型設備。
畳んで省スペース保管ができます。

バッガード

カンボウ防虫メッシュ 〈品番〉B15000 〈色〉黒

急性毒性 LD50 （ラット 半数致死量）

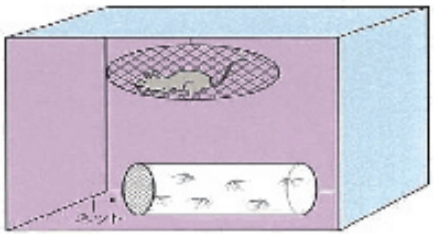
名称	半数致死量	含有するもの
使用防虫剤	5000mg	バッガード
ダイオキシン (2,3,7,8-TCDD)	0.0006 ～0.002mg	
ニコチン	1～7mg	たばこ
カフェイン	200mg	茶・コーヒー
エタノール	5000 ～14000mg	酒類

※バッガードには、使用防虫剤 81mg/㎡含有されております。
※半数致死量は、ラットを1kg 換算した場合の数量です。

蚊通過試験 【供試虫】ヒトスジシマカ雌成虫

蚊通過試験

円筒型のプラスチック容器（約7.5cmφ×約13cm）にヒトスジシマカの雌成虫30匹を放ち、試料（NET）でふたをします。これを図のようにゲージ内に放置し、誘引用にマウスを吊し、通過した個体数を経時毎に調べます。



（資料提供：薬品製造メーカー A社）

試験試料	試験内容	経過時間（分）									
		30	60	120	180	240	300	360	420	480	540
①通常メッシュ	通過阻止率(%)	90	70	70	40	10	0	0	0	0	0
②バッガード仕上初期		100	90	80	80	70	70	70	70	70	70
③バッガード耐候促進3年		100	100	90	80	70	70	70	70	70	70
④バッガード耐候促進5年		100	80	80	60	60	60	60	60	50	50

※マウスを入れた金網の中に①通常メッシュ、バッガード（②仕上初期③耐候促進3年④耐候促進5年）計4種類の試験試料で、蚊を入れたプラスチックの筒のふたをし、5mmφ程度の穴を数箇所開けて放置したときの蚊の通過の阻止率を表示しております。

■ 品質について

品質方針

福井工場は、全員の責任と役割を明確にし、お客様の満足度向上に努める。
福井工場は、法令を遵守し、社会的規範となる。
福井工場は、設定した品質目標を達成させ、かつ継続的に改善する。
福井工場は、品質マネジメントシステムの有効性を定期的に見直す。

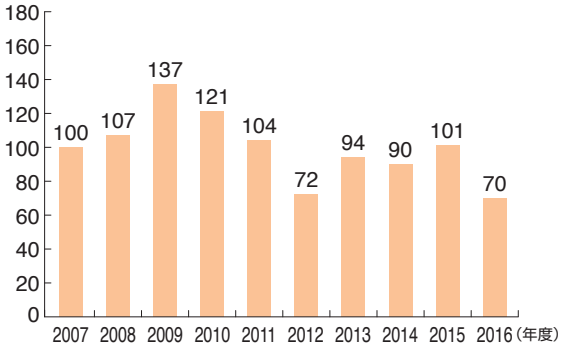
改定：2013年12月1日

苦情発生状況

2016年度の苦情件数は過去10年間で最も少ない結果でした。
ここ数年、設計の見直しや品質安定化への各種改良など品質改善の取り組みに注力してきており、一定の効果が見られるようになってきました。

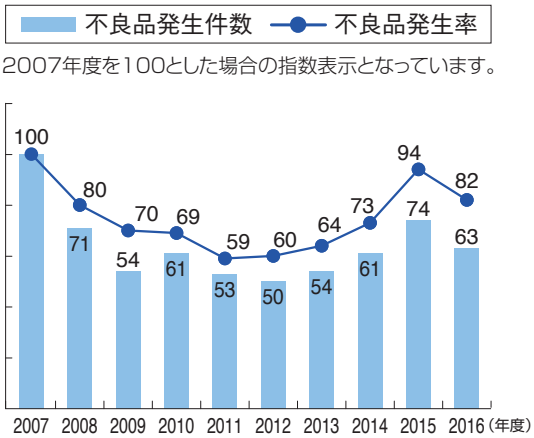
苦情発生件数推移

（注）2007年度を100とした場合の指数表示となっています。



不良品発生状況

2016年度の不良品発生件数は2015年度よりも減少し、2013年度から増加していた不良品発生率に歯止めをかけることができました。
カンボウプラスでは、不良品発生率低減のため「加工精度向上のための設備改善」、「加工条件の見直し」、「工程内検査の精度向上」、「作業環境の改善」、「3Sの推進」、「作業要領の改善、維持」など、様々な角度から改善を推進しています。
当社の製品をお客様に安心してご使用いただけるよう、さらに改善を進めてまいります。



小集団活動

福井工場では、現場力向上のための小集団活動に取り組んでいます。
10チームが品質や生産性の改善などをテーマに活動しており、さらに労災ゼロを目指して、作業標準書の見直しやリスクアセスメントにも積極的に取り組んでいます。
安全面の取り組み強化の結果、製造部門では労災ゼロを達成しました。

環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

『環境基本方針』
当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

1　当社は、地域社会と協調し、対話を大切にし、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
2　当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
3　定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4　当社の事業活動に関係する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
5　当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
6　環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
7　環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、社外からの要求、その他必要に応じて公表します。

改定　2008年4月1日

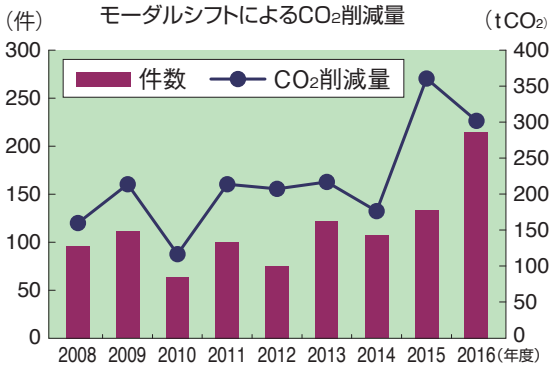
事業活動における環境負荷（福井工場）

INPUT		事業活動	OUTPUT	
水資源	386千t	生産数量 20,331千㎡	廃棄物のリサイクル量	563t
エネルギー	3,500kl		廃棄物のリユース量	35t
薬品・着色剤	5,901t		最終処分廃棄物量	864t
フィルム類	2,281km		CO_2排出量	8,100t
基布類	20,884千㎡			

地球温暖化防止への取り組み

当社ではJRコンテナ便利用によるモーダルシフトにて、CO_2排出量の削減を積極的に進めています。

2016年度はJRコンテナ便から一部トラック便に移行したものがありましたが、お客様のご協力のもと、JRによる関東、四国、九州方面への出荷が増えたため、前年度同様300トンを超えるCO_2を削減することができました。



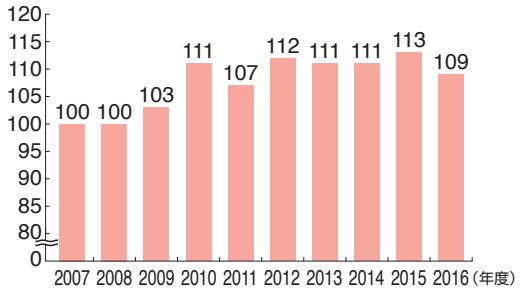
エネルギー消費量とCO2排出量

生産量は昨年比0.6%減でしたが、原油換算消費量は4%削減することができました。

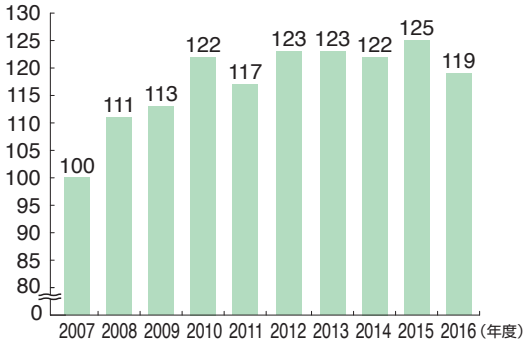
2016年度は蒸気使用設備および蒸気送気系統のメンテナンスに注力し、ボイラー燃料である重油の原単位を前年度比で17%削減することができました。

しかし、BM対比では8%の増加であり、さらなるエネルギー消費削減の取り組みを推進していきます。

エネルギー消費量原単位推移



CO2排出量原単位推移



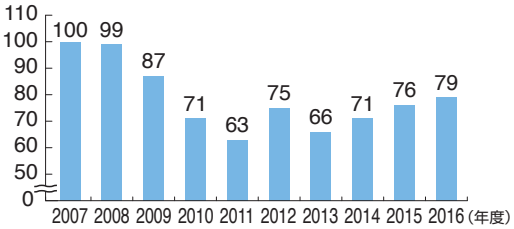
廃棄物削減への取り組み

廃棄物のリサイクル・リユースについては近年微減傾向が続いています。

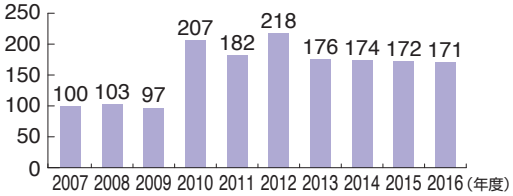
廃棄物の多くを占める、繊維と樹脂が複合された状態でのリサイクルは、今のところ用途がある程度限られており、今後の大きな伸びは見込みにくい状況です。

繊維と樹脂を分離する技術を模索しながら、新たなリサイクル・リユースの取り組みを進めていきます。

最終処分廃棄物量推移



リサイクル・リユース量推移



有害物質の管理

化学物質のリスクアセスメントとして、有機溶剤中毒予防対象物質を扱う作業場、SDS開示義務のある粉体物質を扱う作業場において、コントロールバンディング法によるリスクアセスメントを実施しました。ただし結果については定性的な評価であるため、定量的なTRA-Link法や作業環境測定、マトリクス法なども組み合わせて、リスク見積り・是正措置につなげています。

また低濃度PCBスラッジについて、処理計画が確定しました。計画に基づき早急に適正処理をしていきます。

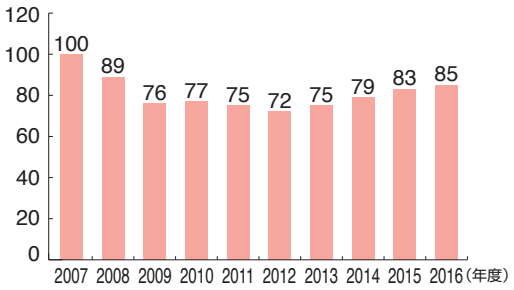
PRTR法への対応

2016年度の生産数量は対前年度比でほぼ同程度でしたが、取扱量は前年度より約１%の増加となりました。原単位指数は2012年度以降微増傾向が続いています。

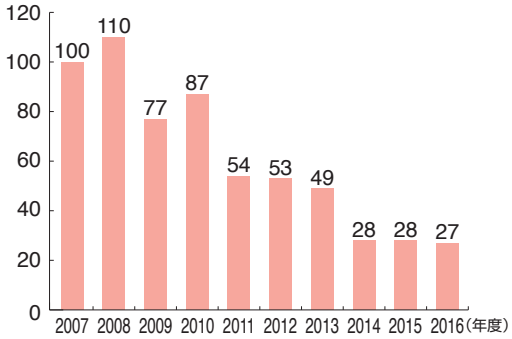
これはフタル酸ビスを使用する製品は減少傾向ですが、その他の溶剤を使用する生産品が増加傾向であることと関連しています。

フタル酸ビスの大気中への排出量について、一昨年から排気物質中の定量分析試験結果を集積しながら算出しています。

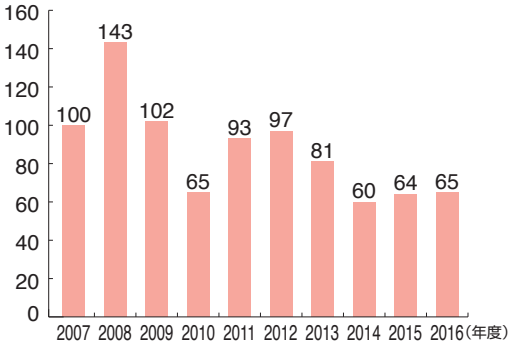
PRTR法対象物質取扱量推移



PRTR法対象物質排出量推移



PRTR法対象物質移動量推移



環境負荷低減製品開発への取り組み

環境負荷物質の使用を削減した製品の開発や、使用時の省エネに貢献できる環境配慮型商品の開発に積極的に取り組んでいます。

今回、大学の講堂の天井材として、当社製造のシートが採用されました。膜天井は、軽くて変形に強く、天井落下による人的被害の危険性が大幅に改善できるとされています。

当シートは可塑剤を含まない軟質シートで、※RoHS指令にも対応できる商品となっています。

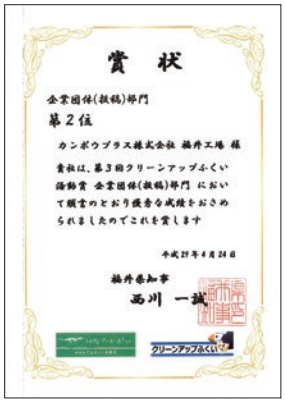
グリーン推進活動

カンボウプラスは2008年より地域の美化運動として月１回、各事業場周辺の清掃活動を実施しています。2016年度の活動参加者は延べ206名でした。

本社では、10月に「大阪マラソン"クリーンUP"作戦」にも参加しました。

福井工場では、環境省や福井県のイベントにも積極的に参加しています。福井県が推進する「カーセーブデー」に対して、ノーマイカー活動参加者の2016年度実績は前年度比７%増の1,421名でした。

これらの活動が福井県にも認められ、環境ふくい推進協議会より表彰されました。


賞　状

※RoHS指令：電気・電子機器に対して特定有害物質の使用を制限するＥＵによる指令で、現在６物質が対象となっています。
2019年にはさらに４種のフタル酸エステルが追加され、１０物質が制限されることになります。
対象６物質：鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ＰＢＢ、ＰＢＤＥ　　追加物質：ＤＥＨＰ、ＢＢＰ、ＤＢＰ、ＤＩＢＰ

従業員への教育

カンボウプラスは人材育成を経営の重要課題と考え、職種別研修、階層別研修、特別研修、自己啓発のための通信教育支援などを実施しています。2016年度は、社会から愛され信頼される企業であり続けるため「コンプライアンス」を重点とした教育に取り組みました。今後も従業員教育の充実を図り、従業員の能力向上に努めていきます。

実施月	研修名	研修内容
2016年 4月	新入社員研修	新・社会人ビジネスマナー基礎研修、 社外安全講習、パソコン講習等
2016年 4月	管理職研修	マイナンバーとストレスチェックについて
2016年 5月	営業職研修	雑談のコツとツボ研修
2016年 6月	技術研修会	粘着剤の設計、製法、展望について
2016年 7月	中級者研修	中堅社員研修
2016年 8月	IT技術セミナー	製造業務向けソリューションの紹介
2016年 9月	カンボウカレッジ	アシックススポーツミュージアム、UCCコーヒー博物館
2016年10月	管理職研修	コンプライアンスと秘密保護について
2016年10月	監督職研修	モチベーションの上げ方研修
2016年10月	技術職研修会	プレゼンテーション研修
2016年12月	事務職研修	ロジカルシンキング研修
2017年 1月	営業職研修	繊維の基礎知識
2017年 2月	昇級者研修	リーダー・主任・係長の実践力強化セミナー、CSRとメンタルヘルスについて
2017年 2月	新入社員フォローアップ研修	「仕事の基本、職場のルール」と「安全」について
2017年 3月	製造職研修	安全衛生教育研修
2017年 3月	考課者訓練	考課者のレベルアップ研修（各事業所）

（管理職研修）

（監督職研修）

公的資格取得の推進

カンボウプラスは2012年度に従業員の能力向上と自己啓発を促進するため公的資格支援規定を策定し、従事業務に主体性をもって遂行できるよう各種公的資格の取得を進めています。2016年度は、福井工場で知的財産管理技能士、第2種放射線取扱主任者、機械保全技能士1級・2級、5t未満クレーン運転、玉掛け技能、はい作業、フォークリフト運転技能など48名が公的資格を取得しました。

雇用延長制度

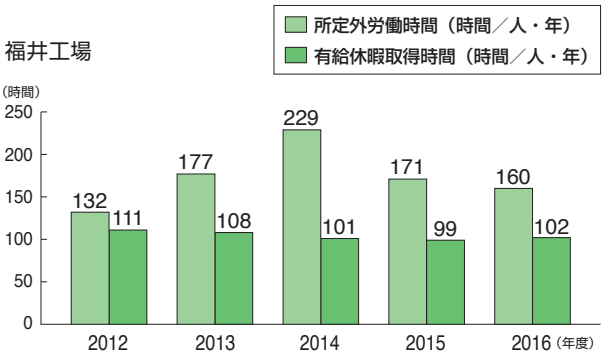
カンボウプラスは2006年度に60歳で定年を迎えた従業員に対して再雇用制度を創設し、雇用延長者の知識やキャリアを生かして若年者従業員の育成などを行っています。また2012年度には、年金の不支給期間への対応として、65歳までの雇用延長制度を確立しました。

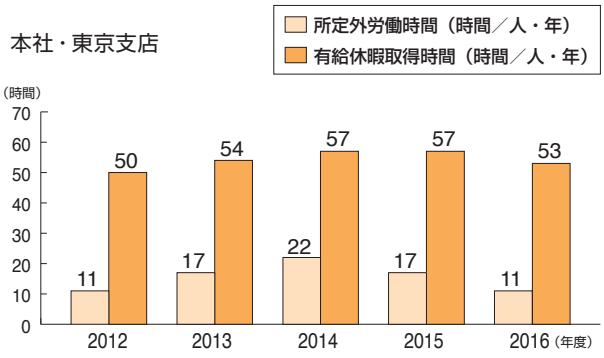
（人）

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
定年退職者数	12	11	4	2
雇用延長者数	6	9	4	0
雇用延長者合計	11	19	21	19

ワークライフバランス

カンボウプラスは仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を目的に、ノー残業デー・最終退出時間の設定と誕生日有給休暇・一斉有給休暇の取得を推進し、総労働時間の削減と長時間労働の撲滅に取り組んでいます。





労働安全衛生

カンボウプラスは従業員が安全で働きやすく健康に配慮した職場を確保するため、安全衛生パトロール・作業環境測定の実施や労使合同で開催する安全衛生委員会の実施などに注力しています。また安全衛生コンサルタントを加え、従来にはなかった第３者の目線から問題点を認識し、早期解決に取り組んでいます。また、ストレスチェックも実施され、さらにメンタルヘルスでの取り組みも強化されました。

主な活動	事業所
安全衛生管理活動計画表の策定	本社・東京・福井工場
安全衛生委員会の定期開催（労使合同）	本社・東京・福井工場
安全衛生パトロールの定期実施と是正処置	本社・東京・福井工場
定期健診、生活習慣病予防検診、健康相談会の実施	本社・東京・福井工場
うがい薬・消毒薬の設置	本社・東京・福井工場
ストレスチェックの実施	本社・東京・福井工場
作業環境測定の実施	福井工場
特殊健康診断の実施	福井工場
安全衛生コンサルタントによる工場パトロール（毎月）	福井工場
冬用タイヤ装着確認	福井工場

労働災害発生件数

製造部門である福井工場では“労災ゼロ”を達成しましたが、全社では2件の発生となりました。

福井工場では労災ゼロを継続すべく、リスクアセスメントや安全教育のさらなる推進、安全衛生コンサルタントによるパトロール・指導など安全対策を一層推し進めていきます。

休業労働災害発生件数

2010年度	1件
2011年度	0件
2012年度	0件
2013年度	2件
2014年度	1件
2015年度	2件
2016年度	2件

内部通報制度

カンボウプラスは『カンボウ・ヘルプライン』と呼ぶ内部通報制度を設けています。

これにより内部情報提供者の保護を図るとともに、違法行為等の早期発見と是正を図り、コンプライアンスの強化に努めています。

緊急事態への備え

2016年4月1日より『事業継続マネジメントシステム（BCMS）』の運用が始まりました。

BCMSに関する教育・訓練を定期的に実施しながら、継続的改善を行っていきます。

ISO26000対照表

ISO26000の7つの中核主題および課題に対して、当CSR報告書に掲載している取り組み内容を対比させました。

ISO26000の中核主題	課　　題	カンボウプラスの取り組み		ページ
組織統治		企業理念		1
人権	1．デューティリジェンス 2．人権に関する危機的状況 3．加担の回避 4．苦情解決 5．差別及び社会的弱者 6．市民的及び政治的権利 7．経済的、社会的及び文化的権利 8．労働における基本的原則及び権利	その他のかかわり	従業員への教育 雇用延長制度 ワークライフバランス 内部通報制度	9 9 10 10
労働慣行	1．雇用及び雇用関係 2．労働条件及び社会的保護 3．社会対話 4．労働における安全衛生 5．職場における人材育成及び訓練	社会とのかかわり	小集団活動	5
		その他のかかわり	従業員への教育 公的資格取得の推進 雇用延長制度 ワークライフバランス 労働安全衛生	9 9 9 10 10
環境	1．汚染の予防 2．持続可能な資源の利用 3．気候変動の緩和及び気候変動への適応 4．環境保護、生物多様性及び自然生息地の回復	環境とのかかわり	環境方針 地球温暖化防止への取り組み エネルギー消費量とCO_2排出量 廃棄物削減への取り組み 有害物質の管理 PRTR法への対応 環境負荷低減製品開発への取り組み グリーン推進活動	6 6 7 7 7 8 8 8
公正な事業慣行	1．汚職防止 2．責任ある政治的関与 3．公正な競争 4．バリューチェーンにおける社会的責任の推進 5．財産権の尊重	その他のかかわり	従業員への教育 内部通報制度	9 10
消費者課題	1．公正なマーケティング、事実に即した偏りのない情報及び公正な契約慣行 2．消費者の安全衛生の保護 3．持続可能な消費 4．消費者に対するサービス、支援、並びに苦情及び紛争の解決 5．消費者データ保護及びプライバシー 6．必要不可欠なサービスへのアクセス 7．教育及び意識向上	環境とのかかわり	有害物質の管理 PRTR法への対応 環境負荷低減製品開発への取り組み	7 8 8
コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	1．コミュニティへの参画 2．教育及び文化 3．雇用創出及び技能開発 4．技術の開発及び技術へのアクセス 5．富及び所得の創出 6．健康 7．社会的投資	環境とのかかわり	グリーン推進活動	8

ISO26000とは・・・
2010年11月に発行された『社会的責任に関する手引き（Guidance on social responsibility）』のことで、第1章から第7章と付属書及び参考文献から構成されています。
この中の第6章【社会的責任の中核主題に関する手引き】で、実践のための具体的内容が解説されており、それらをまとめたのが表にある中核主題とそれぞれの課題となります。第6章では社会的責任として7つの中核主題が設定されており、それぞれの中核主題に対しても複数の課題が設定されているため、合計36の課題となっています。
ただしISO26000では、7つの中核主題に対しては考慮しながらも、それぞれの課題については組織との関連性・重要性から取り組みの判断をすればよいとされており、36の課題すべての対応を要求されているわけではありません。

カンボウプラス株式会社
〒541-0054
大阪市中央区南本町1-8-14　堺筋本町ビル
TEL 06-6262-1277　FAX 06-6262-9419
URL http://www.kanbo.co.jp/